

協働事業提案調整記録

事業名	2. コミュニケーション支援事業 3. 子どもたちの暮らしやすい地域創り
日時	6月25日(金) 10時~11時45分
場所	市役所3階 秘書広報課横会議室
参加者 (敬称略)	【提案者】NPO法人カウンセリングコミュニケーションサポートセンター (3人) NPO法人地域家族しんちゃんハウス(1人) 【担当委員】宇津木、小杉 【参加課】指導室(中田、朽名)、生涯学習センター(井上、関水) 青少年センター(岩崎、新比叡)、障害福祉課(小池) 市民活動課(井東、鈴木、小山)

2. コミュニケーション支援事業(10時~11時)

主な内容	<p><u>提案者</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近の子どもをめぐる問題はコミュニケーションの部分が多い。カウンセリング手法は日常生活の中で子どもとのコミュニケーションに活かせると思う。そのために身近に勉強できる機会を作りたい。 ・シンポジウムについて、コーディネーターなど具体的な候補者はある。時期については今回の提案の関係で17年3月に変更したい。先生、保護者など自由な立場で話し合う場としたい。 ・細かい事業計画が固まっていると協働事業ではなく支援ではないかとの意見がある。他方で計画がなければもっと具体的な計画が必要、具体的に行政に何を求めるのかとの意見がある。協働事業自体がよく分からない。 ・後援やまほろば基金など市の情報を集め勉強したい。 ・私たちと同じ悩み(想い)を持っている人がいることがわかって良かった。 <p><u>参加課</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校や教員へのPRについては、事業の目的が認められれば教育委員会の後援という方法で可能だと思う。(事業の実施主体はあくまで申請者になるが)(指導室) ・生涯学習センターでは地域学習交流事業として、会場予約、PRなどの支援を行っている。事業内容によってメニューがあるので相談してほしい。(生涯学習センター) ・提案は、NPOとしての活動目的の延長のように思える。何を行政に求めているのか分かりにくい。(指導室) <p><u>担当委員</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働事業は、市民と行政が一つの目的のために一緒になって考え協力するもの。会場の優先予約や資金の支援などは別な方法もある。例えば、まほろば基金の補助金申請(社会教育課所管)を検討してみてもどうか。 ・「コミュニケーション」をキーワードに何か出来ないかという提案者の想いは理解できる。ただ、その想いの中に学校教育、青少年、子育てなど色々な要素が含まれていてイメージがつかみにくい。 ・まずは、団体同士のつながりを広げる時期ではないかと思う。
------	---

協働事業提案調整記録

	<p><u>市民活動課</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働事業は市と市民等がお互いに役割分担をして実施するものだが、その分担割合が具体的に決まっているものではない。事業の内容によって違ってくると思う。 ・市民活動課でも、市民活動推進基金による市民活動への補助金制度をはじめ。 ・この公開調整の場など協働事業提案のプロセスは、皆さんの想いを広げる場でもあると思う。
確認事項	<p>* まず、後援や補助金など現在ある市の制度を活用し、提案者独自で事業を進められるか検討する。</p>

<h3>3 . 子どもたちの暮らしやすい地域創り (1 1 時 ~ 1 1 時 4 5 分)</h3>	
主な内容	<p><u>提案者</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが気持ちよく生活できる場を提供していきたい。そのために母親にゆとり、安心を提供することが必要と考えている。親だけでなく地域との交流を大事にしながら、活動を続けている。 ・市には、 しんちゃんハウスの情報を流すこと、 1 小学校区に学童保育が1つという古い規約の見直しをしてほしい。 ・活動のうち1つを抜き出して事業とするのでは、私たちの想いと異なる気がする。自然発生的におこってくる課題に日々立ち向かった活動をしている。 ・特に子育ての部分で協働したいと考えている。この内容で具体的な提案を再度提出する。 <p><u>参加課</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学童保育は、学校に設置しているものと学校以外で父母などが独自で行っているものの2種類がある。そして、現在は3つの小学校で民間に委託して運営している。(青少年センター) <p><u>担当委員</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案者は色々な機能を統合した活動を行っているが、それは、まさにNPOだから出来ること、NPOの良さである。(法律などで制約を受ける行政との違い) ・コミュニケーション支援事業と同じことが言えるが、既に行っている活動の中で、具体的にどの部分で行政と協働したいかを示してほしい。 ・単独で行うより市と協働した方が良いという理由も見えるようにする。 ・学童保育の件については、協働事業提案とは別の問題。
確認事項	<p>* 提案者は、提案内容を再検討して市民活動課に提出する。</p> <p>* 再提出された内容で市民活動課が関係課を整理し、調整の場を設定する。</p>

(記録者 : 市民活動課 小山)